

SSL 永久アンカーア工法 CE型

周面摩擦先端圧縮型



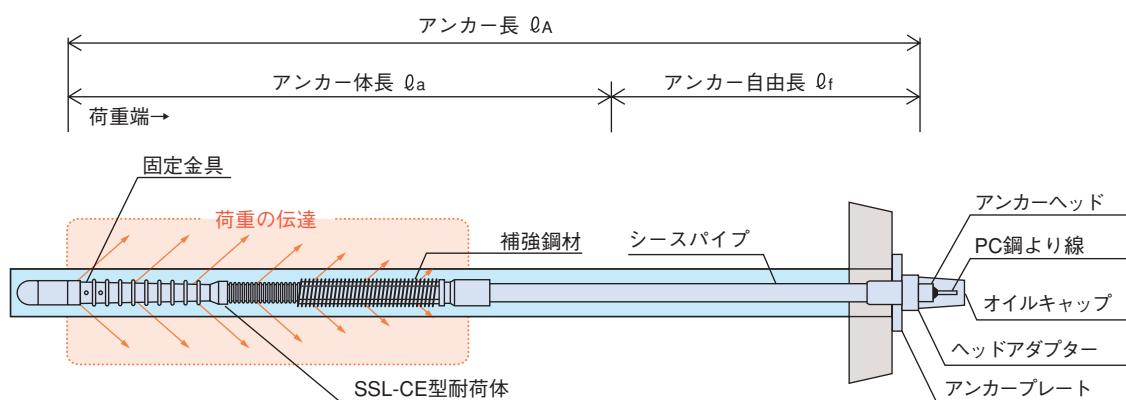
SSL-CE型アンカーは技術と斜面防災工事の合理化に寄与し

SSL-CE型アンカーアル法は、グラウトに引張り亀裂が発生しづらい圧縮型の支持機構と、荷重を効果的に分散する耐荷体により優れた応力分散特性を実現しています。

- アンカー技術を集約した信頼性の高い応力分散特性
- テンドン全長にわたる高水準な二重防食構造
- 小削孔径による建設コストの低減
- 先端部から確実にグラウト出来ます

◆優れた応力分散特性

SSL-CE型耐荷体では、荷重が固定金具外周のリブと補強鋼材を介してバランスよくグラウトに伝達され、応力の集中が緩和されます。



[荷重伝達の概念]

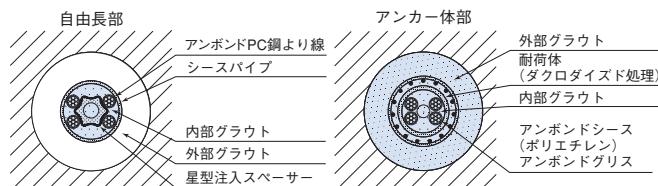
経済性で ます

◆高水準な防食機構

テンションは防錆油の充填されたアンボンドシースと内部グラウト、さらにはポリエチレン製のシースパイプによって保護されます。

また耐荷体部分は、防食処理された鋼材により保護されます。

こうした構造により、テンションは全長にわたり物理的、化学的に安定した多重の防食環境下に置かれます。



[防食構造の概念]

◆頭部定着システム

アンカー頭部はくさび定着方式を採用しています。くさび定着方式は、テンション全長にわたって把持、定着が可能であるため、施工性が良好です。

また、リフトオフ、除荷、再緊張等に際しても切断余長を確保することで、適切に対処できます。

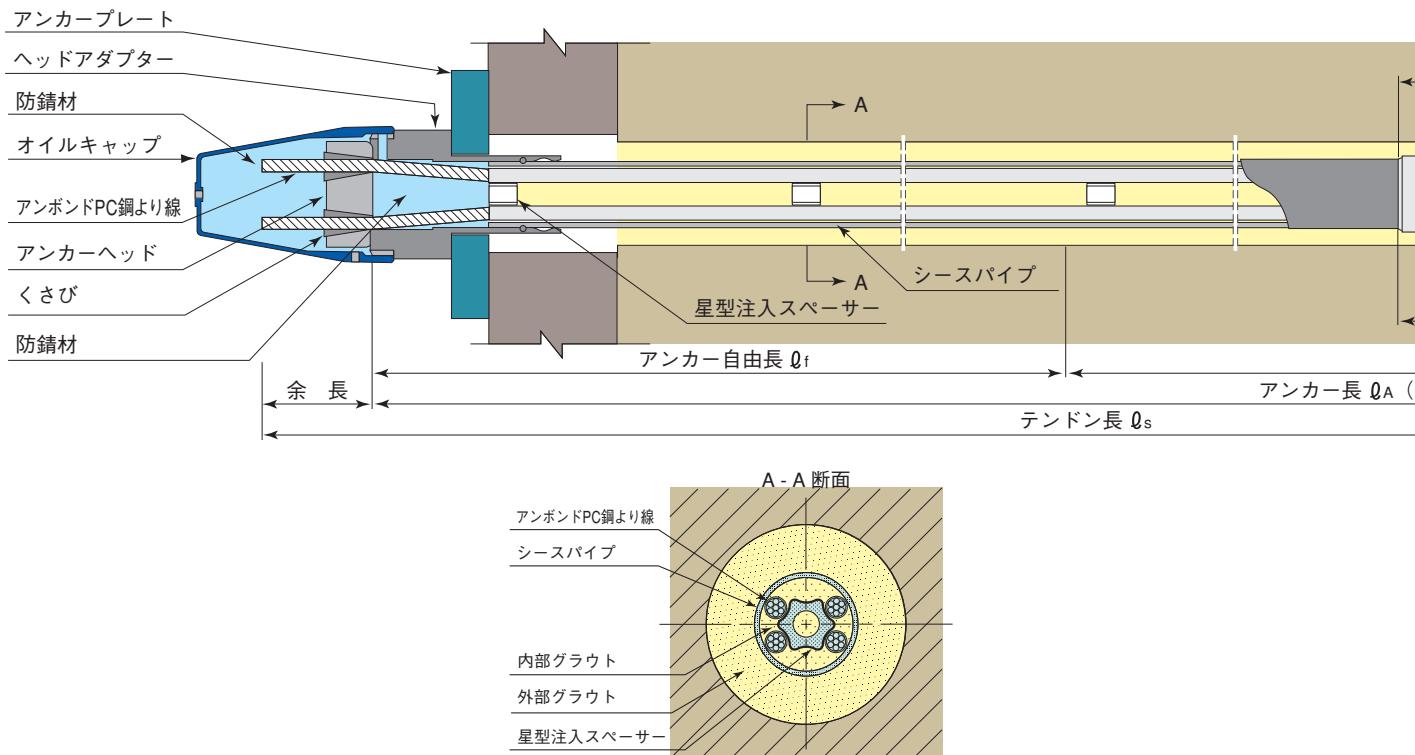


◆確実な施工性

アンカーボディの小径化を阻害しない、コンパクトな孔底注入システムを採用しています。シースパイプをグラウトパイプと兼用し、内部グラウトを耐荷体先端部で排出させます。



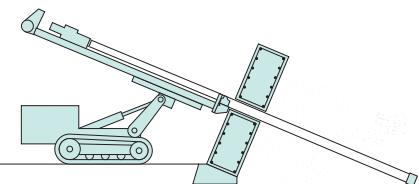
SSL-CE型標準構造図



施工手順

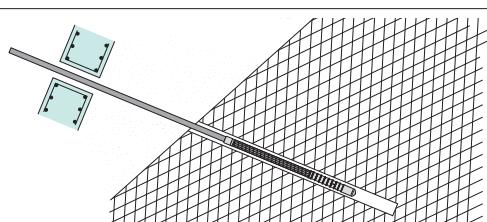
1. 削孔

適切な設置地盤を確認し、十分に孔内洗浄します。



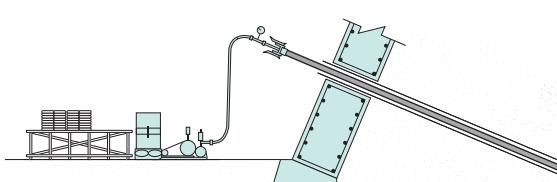
2. テンドン挿入

テンドンを挿入します。



3. グラウトホースの接続

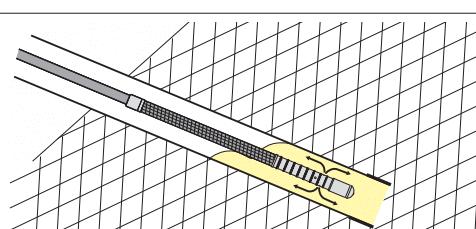
シースパイプにグラウトホースを接続します。

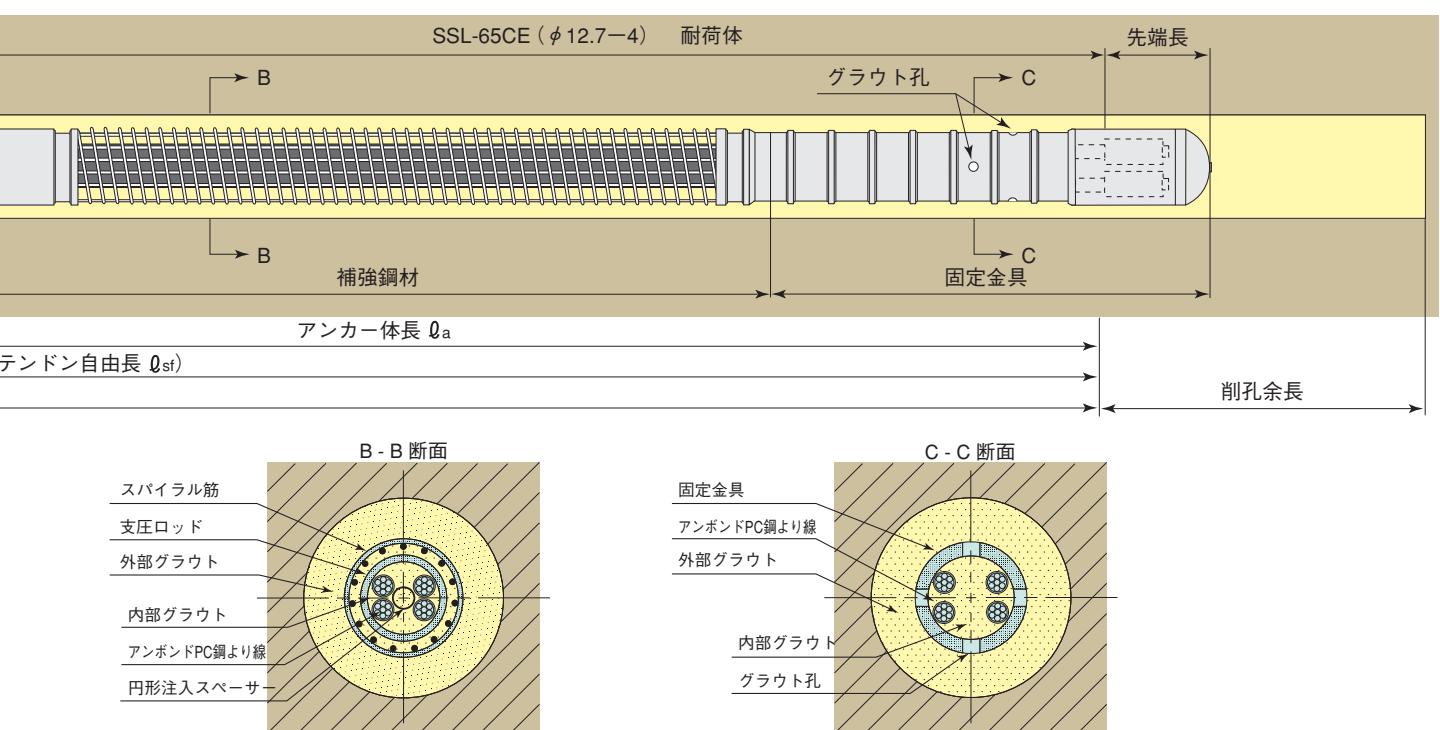


4. 置換注入

水押し後、ケーシング内にグラウトをゆっくりと注入します。

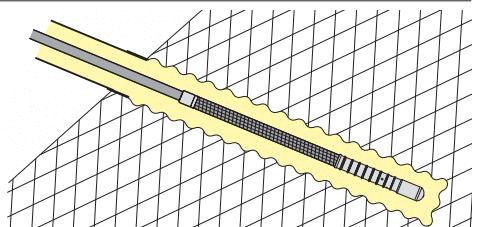
孔口からのリターンにより削孔水や空気、スライムが完全に排出されたことを確認します。





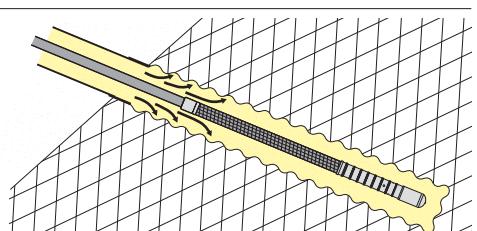
5. ケーシング引抜き

アンカーボー部のケーシングを引抜きます。



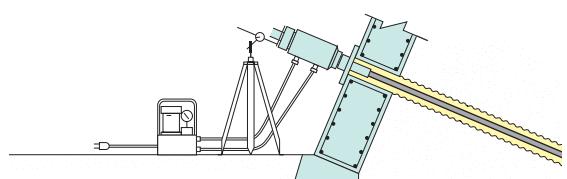
6. ケーシングによる加圧注入

ケーシングに加圧ヘッドを取り付けて、グラウトを加圧注入します。アンカーボー長が長い場合、2~3m毎に分けて行います。



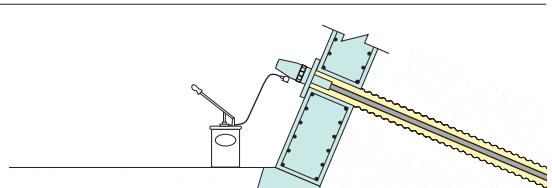
7. 緊張・定着

グラウトが所定の強度に達したのち、緊張して試験を行い、定着します。

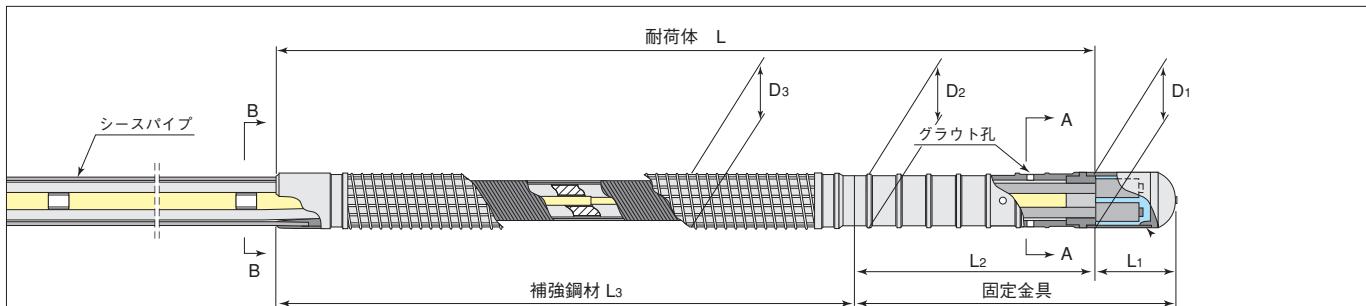


8. 頭部処理

オイルキャップを取り付け、防食処理を行います。



アンカー設計諸元



区分		35CE				65CE			
テンション構成		φ 12.7-1	φ 15.2-1	φ 17.8-1	φ 21.8-1	φ 12.7-4	φ 12.7-5	φ 12.7-6	φ 12.7-7
固定金具	A - A 断面								
アンボンドPC鋼より線									
内部グラウト									
グラウト孔									
耐荷体長	L	1065	1065	1065	1565	1565	1565	2065	2065
固定金具	L ₁	93	108	140	185	93	93	93	93
(材質)炭素鋼	ほか ダクロタイズド処理	460	460	460	460	460	460	460	460
D ₁		57	57	57	57	63.5	70	76.3	76.3
D ₂		57	57	57	57	63.5	70	76.3	76.3
補強鋼材		605	605	605	1105	1105	1105	1605	1605
(材質)炭素鋼	ほか ダクロタイズド処理	59	59	59	59	79	79	79	79
耐荷体 質量	(kg) M	10.6	11.1	12.2	18.4	22.9	25.1	34.6	36.5

■ テンドン

テンション断面積 (mm ²)	98.7	138.7	208.4	312.9	394.8	493.5	592.2	690.9
裸線単位質量 (kg/m)	0.774	1.101	1.652	2.482	3.096	3.870	4.644	5.418
引張荷重 Tus [kN] {tf}	183{18.7}	261{26.6}	387{39.5}	573{58.4}	732{74.8}	915{93.5}	1098{112.2}	1281{130.9}
降伏荷重 Tys [kN] {tf}	156{15.9}	222{22.6}	330{33.6}	495{50.5}	624{63.6}	780{79.5}	936{95.4}	1092{111.3}
許容引張力 Tas [kN] {tf}	地震時(0.9·Tys)	140{14.3}	199{20.3}	297{30.2}	445{45.4}	561{57.2}	702{71.5}	842{85.8}
(JGS4101-2000)	常時(0.60·Tus)	109{11.2}	156{15.9}	232{23.7}	343{35.0}	439{44.8}	549{56.1}	658{67.3}

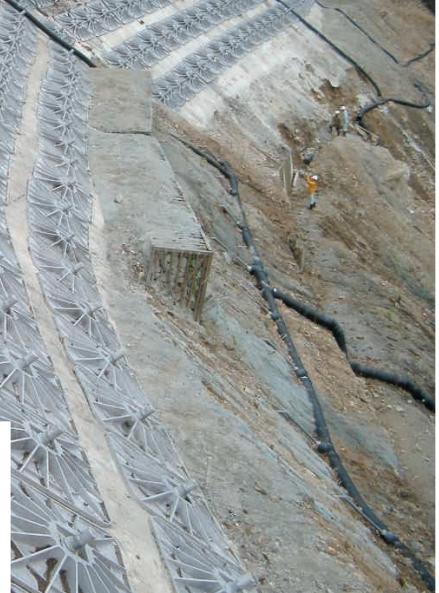
■シース

*バッカーを用いる場合や、ケーシング内にスライムが残留する場合などには別途検討を願います

「ナリ」を用いる場合、「ナシ」シント式にナリト云が残る場合などには別途假名を讀むよ。

■ その他の部材

35CE用アンカークリップ				35CE用ヘッドアタッパー				35CE用ストランドセンタライサー						
グリップ部		質量 M1 (kg)		防錆材注入孔	セットボルト	Oリング	質量 M (kg)		φD1	φD2	質量 M (g)			
(材質)炭素鋼				φD1	φD2	L1	L2	φD1	φD2	L1	L2			
くさび部		質量 M2 (g)												
(材質)クロムモリブデン鋼				(材質) 炭素鋼・亜鉛メッキ	防錆材充填量V (kg)				(材質) 銅・亜鉛メッキ	質量 M (g)				
区分	φD1	L1	M1	φD2	L2	M2		φD1	φD2	L1	L2	M		
φ 12.7-1	45	50	0.5	28	52	115		φ 12.7-1	97	60.5	166	50	2.9	0.2
φ 15.2-1	50	50	0.7	32	56	160		φ 15.2-1	97	60.5	166	50	2.8	0.2
φ 17.8-1	50	60	0.9	38	60	190		φ 17.8-1	97	60.5	166	50	2.8	0.2
φ 21.8-1	65	75	2.0	44	75	325		φ 21.8-1	97	60.5	166	50	2.7	0.2
								φ 21.8-1	97	60.5	166	50	2.7	0.2
区分	φD1	φD2	L1	L2	M		区分	φD1	φD2	L1	L2	M		
φ 12.7-1	40	19.1	50	30	30		φ 12.7-1	40	19.1	50	30	30		
φ 15.2-1	40	22.2	50	30	35		φ 15.2-1	40	22.2	50	30	35		
φ 17.8-1	40	25.4	50	30	42		φ 17.8-1	40	25.4	50	30	42		
φ 21.8-1	40	28.6	50	30	46		φ 21.8-1	40	28.6	50	30	46		



SSLアンカー協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-7-1 2F
TEL. 03-5623-3645 FAX. 03-5623-5554
<https://isabou.net/sponsor/ssl/ssl.asp>

■ 製造・販売元 ■

 サンスイ・ナビコ 株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-7-1 2F
TEL. 03-5623-3600 FAX. 03-5623-5554
<https://www.sansui-n.com/>
建設技術審査証明は日特建設(株)、ライト工業(株)、その他1社で取得しています。